

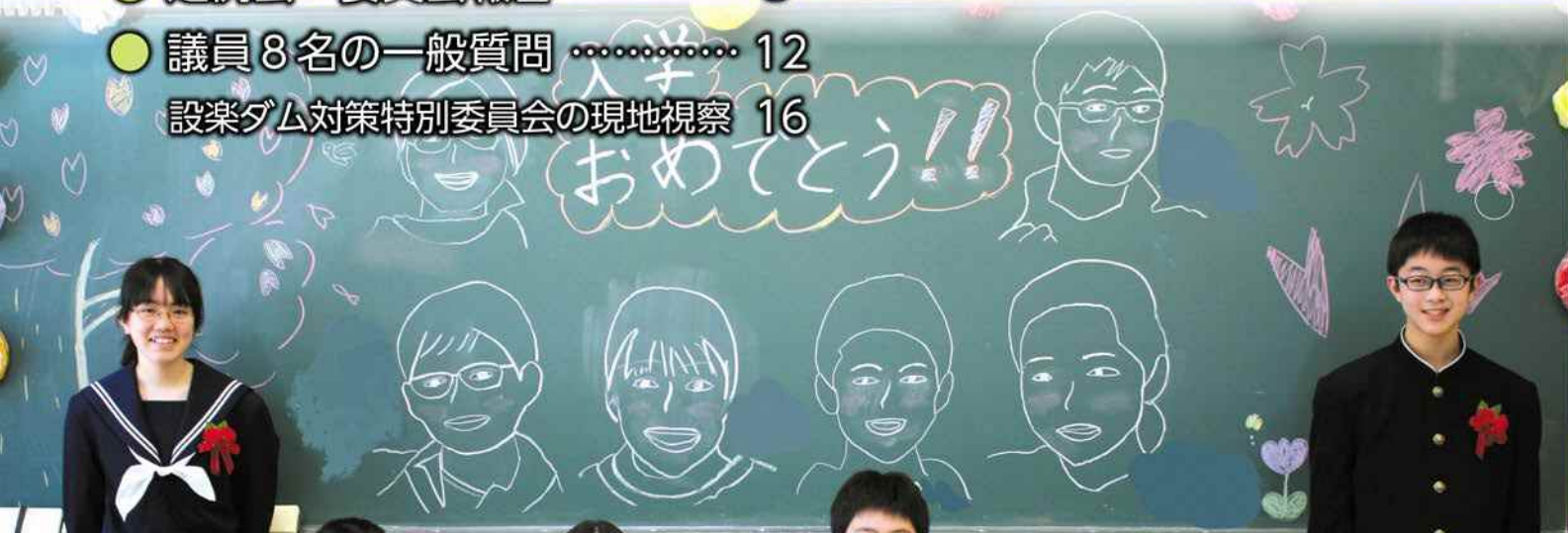
# だより



設楽中学校入学式

## もくじ

- 令和4年度予算 ..... 2
- 定例会・委員会報告 ..... 5
- 議員8名の一般質問 ..... 12
- 設楽ダム対策特別委員会の現地視察 16



津具中学校入学式

# 令和4年度 予算

令和4年度設楽町一般会計・特別会計当初予算を可決しました。

歳入歳出総額	一般会計	60億2,883万円
	特別会計	24億9,730万円
	合計	85億2,612万円

## 主な歳出予算の概要

数値地形図作成業務委託	48,312千円
小水力発電事業基本設計業務委託	23,133千円
世界ラリー選手権関連事業	9,258千円
やすらぎの里大規模改修委託	8,890千円
旧斎苑解体撤去工事	32,153千円
アグリステーションなぐら改修工事	105,600千円
消防ポンプ自動車購入事業	21,294千円
中学生人材育成研修事業	5,639千円

## 反対 田中邦利議員

町長は施政方針説明で、コロナ対策と社会経済活動の両立を掲げ、新型コロナへの対応を切れ目なく行っていくと述べたが、不十分といわざるをえない。病院統合・病床削減の中止や、保健所の充実について国県に要請することに消極的で、「社会経済活動との両立を図る」ためには、無症状の感染者を早期に発見、隔離するPCR検査等の拡大が欠かせないが、真剣に追求する姿勢はない。

今回予算は前年度を踏襲しただけであって、住民生活や福祉の向上がない。福祉移送サービスや高齢者福祉タクシー補助金のさらなる改善、学校給食無料化などに何の進展も見られない。「新規事業よりも現行の各種事業の見直し（町長）」からきているか。

逆に、見直しが必要な移住定住事業の「毎年10世帯の移住者確保」は堅持、継続している。道の駅にまつわる観光行政や、WRCイベントなど、観光とインバウンドをあてにした施策になっている。

安全性やプライバシーの保護が懸念されるマイナンバーカードの普及に力を入れようとしている。

人類の喫緊の課題である地球温暖化防止のため、再生エネルギーの導入、省エネ推進の施策が求められている時に、脱炭素化事業の取り組みが弱い。

## 討論

〔一般会計〕

## 賛成 今泉吉人議員

一般会計の予算規模は、前年度比較で4.6%増加し約60億円となった。

これは、令和5年度から、簡易水道、公共下水道、農業集落排水事業の各会計の財務処理において公営企業法を適用にかかる資金確保のため、各事業へ運営資金を積立てる必要があることが主な要因である。

本町の大型事業もほぼ終了し、残すは、公共下水道の配水管設置であり、設楽ダム本体工事も令和8年の終了を目指している。それに伴う小水力発電計画も同時進行し、町民に少しでも電気の還元も出来る様にするに聞いている。また、道の駅したら、八橋斎苑も順調に運営できている。さらに、きららの森整備事業、ダム湖周辺の整備、公園の設置などの予算も示されており、観光客、移住定住者などを呼び込む手段が伺われる。

また、国民健康保険、介護保険、子育て事業なども充実しており問題はない。教育関係では小中学校ICT支援による授業の運営、円滑化、効率化を進め魅力ある授業創りにつとめ、産業関係ではヤマビル被害の拡散防止に、引き続き講習会の開催、殺ヒル剤、忌避剤の配布も理解できる。

新型コロナウイルス感染症は終息していないが、愛知県も3月21日を以って、まん延防止等重点措置が解除された。しかし、引き続き県独自の嚴重警戒措置が発令中で感染予防対策が必要である。これに対し、3回目のワクチン接種も順調に進められており、この夏には4回目のワクチン接種が国の方針で示されている。本町は何処の市町村よりも素早く対応しており期待する。

令和4年度は、パワートレイル、世界ラリー選手権などのイベントも計画され活気にあふれている。小中学校の統合問題も令和6年をめどに町民との意見交換も行われている。

本予算にあっては、町民のための予算計上と認められる。

## 予算特別委員会 主な質疑・答弁内容

令和4年3月2日、11日、14日、16日の4日間で委員会を開催し、284件の質疑・答弁がありました。

- Q** アウトドアスポーツ情報発信委託の内容はどのようなものか。
- A** 設楽ダム湖の有効利用、特にアウトドアスポーツでの利用について検討を行っていく。
- Q** 世界ラリー選手権の予算が令和3年度と同額である。もっとお金をかけて設楽町をPRしていくつもりはないか。
- A** 予算は、観戦場所の設置や応援グッズの作成費用で、開催が一時的なものにならないよう、しっかりPRしていきたい。
- Q** 数値地形図作成業務委託で作成したデータは、どのように利用していくのか。
- A** 住民が要望する縮尺に合わせて地形図を発行したり、災害危険個所のレイヤー等、各課でいろいろな業務で利用したりすることを考えている。
- Q** 東三河森林活用協議会の活動内容が予算概要に記載されているが、予算が計上されていない。町として、どういう対応をしていくのか。
- A** 東三河森林活用協議会がチップ等の収益により、自主運営ができるようになったことから補助金は計上していない。
- Q** 小水力発電事業において、基本設計業務へ移行できる理由はなにか。
- A** 2年間の検討結果により、20年後においても継続性が認められたため、新たな段階へ移行する。
- Q** 北設情報ネットワークでインターネットが夕方以降繋がりにくい状況があるが、対策はどうなっているか。
- A** NTTが豊橋市から設楽町までの中継線を太くしたり、豊橋にある局の変更作業を行った結果、改善していると聞いている。
- Q** 住民情報システム改修委託で、コンビニ収納手数料が計上されていない理由は。また件数はどの程度見込んでいるのか。
- A** コンビニ収納の開始は令和5年度からの予定。とりあえず町税のみ対応し、約1,000件、金額にして1,500万円の収納を予定している。
- 手数料は1件90円程度と考えている。
- Q** マイナンバーカードの普及率は現在何%で、4年度中にどの程度になると考えているのか。
- A** 現在、約3割の1,413名の方に交付済み。愛知県の普及目標は毎月1%増加している。
- Q** 高齢者ふれあいゴミ収集事業の状況はどうなっているのか。
- A** ホームヘルパーが高齢者の家を訪問した時に収集しており、一般の団体の登録はないのが現状である。
- Q** 補聴器だけではなく、集音器の購入に対する補助はできないか。
- A** 現時点では、集音器の購入に対する補助は考えていない。
- Q** 栄養治療食利用料助成事業の栄養食を作る委託先はどこか。町内の業者では難しいと考えるがどうか。
- A** ケアマネジャーの指導のもと、療養食専門の宅配業者が行う。
- Q** やすらぎの里の大規模改修は何をするのか。
- A** 現在、2名1部屋であるものを入所者の減少も考慮して、1人1部屋に改修していく。
- Q** 宝保育園運営支援事業で園児数は令和3年度と変わらないのに措置費が600万円ほど増えている理由はなにか。賃金改善はどういう状況か。
- A** 定員を40名から30名に引下げたことによる措置単価の増である。また、賃金改善は行わない予定である。
- Q** 不妊治療費助成が、4年度から保険適用になるとのことだが、国との制度の違いはなにか。
- A** 国の制度と同様で治療回数への補助も同じ。保険適用外の自己負担分を補助する。
- Q** コロナに罹患されて亡くなられた人がみえたが、火葬はどのような対応になったのか。
- A** 完全密封した形で葬儀社が搬送してくる。通常の火葬と同様である。火葬後は施設の消毒を行っている。

- Q** 燃料費の高騰により、ハウスでの作物栽培に支障をきたしていると思うがどうか。燃料費の補助を行うつもりはあるのか。
- A** 現時点での補助は考えていないが、農家からの要望があれば地域の足並みを揃えて考えていく。
- Q** 有害駆除で、箱ワナやくくりワナに対する補助はどうなっているのか。
- A** くくりワナについては、新城以北で作っている協議会で配布している。箱ワナについては、防護柵と同様に1/2補助を行っている。
- Q** ヤマビル対策研修会や医薬材料費の予算付けをしているが、愛知県の対応はどうか。
- A** 県として研究を行い、サポートをしてくれるとのことだが、具体的な予算付けはされていない。
- Q** 木材高騰により、きららの森ビジターセンターの建設費用の高騰が予想されるが、どう対処するのか。
- A** 建設までに時間があるので、木材の高騰も含めた費用や施設の設計の見直しを考えていく。
- Q** アグリステーションなぐらの大規模改修の内容はなにか。
- A** 厨房の改修に合わせて、ウッドデッキのようなオープンスペースを作っていく。
- Q** 道路維持修繕工事の金額が前年度の半分の4,500万円になっている理由はなにか。
- A** 応急・緊急的に対応ができる緊急修繕で対応する。
- Q** 4年度前半で飯田海老線の代行事業が完了し、町道黒倉神田線も1年後には完了すると聞いたが、堤石トンネルの封鎖はどうなるのか。
- A** 町道黒倉神田線が完了した時点では、水道やNTTの電線が入っているので、車輛と歩行者を通さない封鎖となる。
- Q** 町道路面の凹凸により、毎年事故が発生し、町に損害賠償が請求されているが、どのような対応を行うのか。
- A** 建設課職員が順次町道の点検を行い、悪いところは緊急修繕工事を行っていく。
- Q** 3年度に防災アプリを整備したが、どのような使い方になるのか。
- A** 防災行政無線の情報が音声とテキストの両方で届くようになり、避難所の開設状況等を提供することができる。
- Q** 災害対応用のドローンを町として購入する用意はあるのか。
- A** 町としての購入予定はないが、新城消防で保有している。
- Q** 本町と太田口にある消防ポンプ自動車を廃車して、新たに1台を購入することだがどこに配備するのか。消防団員減少の中で、自動車等の器具の管理ができるか危惧するがどうか。
- A** 太田口に配備する。消防力をどうしていくのかを地区懇談会の中で意見を聞きたい。
- Q** 中学生海外派遣事業の今後の展開をどう考えているのか。
- A** 4年度も、コロナの影響で実施できないため国内研修に切り替えたが、今後とも海外研修ができるように検討を重ねていく。
- Q** 成人年齢が18歳に引き下げられたが、町として成人式の年齢をどうするのか。
- A** 名称の変更を考えているが、現時点では、20歳のまま成人式を挙行していく。
- Q** 教職員の多忙化解消に対する施策はどのようなものか。
- A** 支援員やサポートスタッフに地域の方々をお願いし、教職員の負担を少なくする。
- Q** 田口高校に併設されている山嶺教室の給食も田口共同調理場で作ると聞いたが、だれが運ぶのか。
- A** 田口共同調理場の給食等運送用トラックで運ぶ予定。
- Q** 八橋と川向に別荘が1軒ずつ残っていると思うが、その家に対する対応はどうなるのか。
- A** 八橋の別荘は移転費用の一部を補助し、川向の別荘は井戸を掘削し、町が管理する方向で話し合いをしている。なお、町の一般財源ではなく、国からの補償で補う。

## 令和4年度 町長施政方針

今年度の予算編成は、設楽ダム関連事業を中心としたハード面と、地域の実情、住民のニーズを踏まえたソフト面に着目したものとなっており、併せて新型コロナ対策と社会経済活動の両立を図りながら、第二次設楽町総合計画に掲げた各施策を実行していくことを基本とし、有利な財源の活用と効率的な執行を念頭に置いた。

- 行政デジタル化の推進と事務事業の必要な見直しを行う
- 移住定住施策の充実と新しい過疎計画及び地方創生に関わる更なる展開を図る
- 新型コロナとの共存を念頭に置きつつ、必要な対応、対策的的確な実施
- 町主催のイベント等は、感染状況を踏まえ万全な対策の下、必要最小限の範囲での実施

## 令和4年度 教育方針

教育大綱に代わり、教育基本法に基づく「設楽町教育振興基本計画」を新たに策定し、「教育は人づくり」を基本理念とし、各施策を進めていく。

- 適正配置の検討の際、学校統合の適否のみでなく、教育条件の改善などの観点も勘案し、地域の核となっている学校の存在にも配慮し、保護者や住民との共通理解を深めつつ、一定の方向を定める
- 「生きる力」を育む学校教育の推進
- 青少年の健全育成の推進
- 生涯学習の推進、芸術・文化活動の振興
- 国内外における交流の推進、歴史的文化の保存と伝承

2月16日に開催し、上程された議案4件の議決を行いました。

### 第1回 臨時議 会(2月)

件名	結果	備考
報告		
▪ 専決処分の報告について (津具地区農業集落排水施設の改修に関する業務委託)	了承	
契約締結		
▪ 工事請負契約の締結について (令和3年度特定環境保全公共下水道事業マンホールポンプ設備工事)	可決	全員賛成
▪ 工事請負契約の締結について (令和3年度特定環境保全公共下水道事業管渠布設工事(R3-2))	可決	全員賛成
補正予算		
▪ 令和3年度設楽町一般会計補正予算(第11号)	可決	全員賛成
▪ 令和3年度設楽町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	全員賛成

### 工事請負契約の締結について (令和3年度特定環境保全公共下水道事業マンホールポンプ設備工事)の主な質疑

- Q 本工事はマンホールポンプのみの設置なのか、電気配管、設備等も全部込みなのか。
- A ポンプの他、付随する電気設備、電気盤が入っている。
- Q 停電時に備えた非常用電源はあるのか。
- A 今回設置する箇所には非常用発電機はない。停電の場合は、役場所有の発電機を持ち回り順番に汚水を送るという対応になる。

**工事請負契約の締結について  
(令和3年度特定環境保全公共下水道事業管渠布設工事(R3-2))の主な質疑**

- Q 推進工法とあるが、開削工法では施工できないのか。 : A 水路があるので、開削工法では施工不可と判断した。

**令和3年度設楽町一般会計補正予算(第11号)についての質疑**

- Q 教員用のタブレット端末を購入するようだが、授業等で使う場合、現状のネット回線で支障をきたすことはないか。 : A 商品券支給で行うと町内の経済対策になる。
- A 上手く機能しない可能性があるので、現在、北設広域事務組合で調査中である。
- Q プレミアム商品券の事業に実質どの程度の費用がかかるのか。 : A 非課税世帯に10万円を支給するわけだが、対象となる件数、独居老人と高齢者世帯の件数を教えてほしい。
- A 一般販売分のプレミアム及び換金手数料で1,180万円、郵送代が148万円、町民への1人1冊交付のための町が買上げる費用2,265万円となる。 : A 非課税世帯が702世帯、他に家計急変者を30世帯見込んでいる。その中で独居老人、高齢者世帯についての数字は把握していない。
- Q 商品券を支給する場合と現金を直接給付をする場合では費用にどのような違いがあるか。 : A 現在、設楽町で接種している新型コロナワクチンはファイザー社製だが、モデルナ社製のワクチンは接種しないのか。
- A 郵送代が掛かる代わりに、振込手数料等が掛かる。商品券を送るほうがすぐに町民の手元 : A 設楽町には現在ファイザー社製のワクチンしか在庫はない。モデルナ社製ワクチンの希望に対しては、大規模接種会場を案内する。

**令和3年度設楽町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)についての主な質疑**

- Q 療養給付費がかなり上がっており来年度の保険料に跳ね返ってこないかという心配があるが、どのような見込みか。 : A 令和4年度は現状維持でいける見込みである。

**第1回  
全員協  
議会(2月)**

2月16日に全員協議会を開催し、協議事項5件を審議しました。

- 1 小中学校適正配置の検討に係る状況報告について
- 2 設楽町特定環境保全公共下水道事業整備スケジュールの見直しについて
- 3 町営バス稲武線に係る負担金の返還について
- 4 設楽町企業版ふるさと納税基金条例の制定について
- 5 設楽町特定地域づくり事業協同組合制度について

**第1回  
定例会  
(3月)**

3月2日から3月25日までの24日間の会期で開催しました。2日は議案の上程、説明及び各委員会への付託を行い、11日は8名の議員による一般質問を行いました。14日に決算特別委員会(総務建設委員会所管分)及び総務建設委員会、16日に決算特別委員会(文教厚生委員会所管分)及び文教厚生委員会、18日に設楽ダム対策特別委員会を開催しました。最終日の25日は各委員会に付託された議案の審議の結果報告、議決を行い、さらに追加上程された議案の議決を行いました。

件名	結果	備考
人事	・ 議会運営委員会委員の選任	選任
選挙	・ 東三河広域連合議会議員の選挙	当選

件名	結果	備考
報告	了承	
同意	同意	
同意	同意	
契約変更	可決	全員賛成
契約変更	可決	全員賛成
規約変更	可決	全員賛成
条例制定	可決	全員賛成
条例改正	可決	全員賛成
条例改正	可決	全員賛成
条例改正	可決	全員賛成
条例改正	可決	全員賛成
条例改正	可決	全員賛成
条例改正	可決	賛成多数 8 : 1
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成

件名	結果	備考
請願 ▪ コロナ禍による米価下落の対策を求める請願	趣旨採択	賛成多数 8 : 1
陳情 ▪ 国道257号と町道田内清崎線との交差点に信号機ならびに横断歩道を設置する陳情書	採択	全員賛成
発議 ▪ ロシアのウクライナ侵攻についての決議について	採択	賛成多数 9 : 1
予算認定 ▪ 令和4年度設楽町一般会計予算	認定	賛成多数 8 : 1
▪ 令和4年度設楽町国民健康保険特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町後期高齢者医療保険特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町簡易水道特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町公共下水道特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町農業集落排水特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町町営バス特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町つぐ診療所特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町田口財産区特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町段嶺財産区特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町名倉財産区特別会計予算	認定	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町津具財産区特別会計予算	認定	全員賛成

#### 工事請負契約の変更について(令和2年度導水管布設工事<その1>)の主な質疑

- Q 変更原因が管布設中の林道の一部路肩の決壊発生とあるが、自然災害によるものか、それとも作業中に発生したものなのか。
- A 大雨により路肩が決壊したものである。
- Q 路肩決壊の復旧はいつ頃になるのか。
- A 4年度内の復旧を予定している。水道管もこれに合わせて布設する。
- Q 決壊するような軟弱地盤に再度水道管を布設しても大丈夫か。
- A 十分大丈夫な形で道路を復旧するので問題はない。

#### 工事請負契約の変更について(令和3年度簡易水道配水管更新工事<R3-2>)の主な質疑

- Q 水道管を布設した後の復旧を、既設の排水性舗装ではなく普通舗装で行っているが、次回舗装工事の際は排水性舗装に戻すのか。排水性舗装は普通舗装に比べ騒音が大きいと聞いているが。
- A 県と協議しながら進めていく。



## 設楽町企業版ふるさと納税基金条例の制定についての主な質疑

- Q 寄付をした企業の、寄付額の何割が税額控除されるのか。  
A 寄付額の約9割が控除される。
- Q この制度によって企業と地方自治体の癒着を進める可能性があるかと聞いているが、それを防ぐ仕組みはあるのか。  
A 寄付の代償として入札や認可などに便宜を図るなど、企業への利益提供は禁止されている。
- Q ダム関連の工事業者から寄付してもらおうのと、町内に事務所を開設してもらい法人住民税を納めてもらうのとどちらが町にとって有利なのか。  
A 金銭的にどちらが有利かは分からない。
- Q ダム関連の工事業者に何らかのPRはしているのか。  
A チラシによるPRを考えている。
- Q 基金の目標額はいくらか。  
A 町の財政規模に応じて目標額が決まっており、3億円を目標にしている。
- Q いただいた寄付金を使わずに貯め込んでいく、というようなことにはならないか。  
A 事業計画に沿って活用していくが、将来予定している事業にも使いたい。

## 設楽町消防団条例の一部を改正する条例についての主な質疑

- Q 出動報酬が1日当たり1,150円から8,000円と大幅に引き上げられているが、理由は何か。  
A 国で消防団の人員確保等、消防団の処遇改善を図るという目的で出された金額である。
- Q 国は何を根拠に8,000円という額を算出したのか。  
A 予備自衛官（国の非常勤職員）を参考にしている。
- Q 報酬は個人に対して支払われるのか。  
A 設楽町の現状は分団経由で支払われている。

## 令和3年度設楽町一般会計補正予算(第12号)についての主な質疑

- Q 歳入のうち法人税が1,000万円ほど増えている理由は何か。  
A ダム関連工事業者を見込んでの数字となっている。
- Q バスの補助金が倍増している理由は何か。  
A 県の令和3年度過疎バス路線維持費補助金の制度が改正になったため。
- Q 4年度から総合計画の後期計画が始まる予定のはずだが、コロナ禍で会議も開けず計画ができていない。今後どのように進めていくのか。  
A 新しい町長になったこともあり、町長の施政方針、意見等を反映させた計画を策定していくように考えている。
- Q 旧斎苑の解体撤去工事が実施できなかった理由は何か。  
A 建物の調査の結果、清崎斎苑の一部からアスベストが、津具斎苑の炉の中から重金属が検出されたので、その処理を考えた工事に変更するため。
- Q きららの森ビジターセンター用地購入費が見送られた理由は何か。  
A 購入に際しての国からの要望が多く、予定がずれている。
- Q 全体的に当初予算から執行できていないものが多いように感じるが、理由は何か。  
A 必要と思われる予算を組んでいるが、コロナ禍という状況を含め様々な要因により執行できなかったものと理解願いたい。
- Q 消防費の準中型自動車免許取得費補助金について、当初予定と結果はどうか。  
A 当初が4名で80万円を想定。実際には4万6,000円で利用したのは2名である。
- Q ホームページリニューアル事業について、1つの課で行っているのか、各課横断的に行っているのか。  
A 各課の情報化推進委員と、企画ダム対策課を中心に一緒になって行っている。
- Q 小水力発電事業最適化業務委託の結果は既に公表されているのか。  
A 令和2年度、3年度の委託を踏まえ、5月の全員協議会で報告したい。
- Q 障害就労移行支援、地域移行支援費が減額されている理由は何か。  
A 両項目とも、支援はしているが実績にはつながらなかった。

## 令和3年度設楽町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)についての主な質疑

- Q 人間ドック、特定健診の受診者数の見込みと実際の受診をされた方はどの程度か。
- A 節目人間ドックの受診者が見込み10名のところ1名。節目以外人間ドックの受診者が見込み32名のところ2名。特定健診の基本項目の受診者が見込み50名のところ3名。特定健診の超音波検査の受診者が見込み50名のところ11名であった。
- Q 当初予算の計上からすると大変違った数字になっているが、この点どのように考えて、改善していくのか。
- A 特定疾患を持っている人は定期的に血液検査などを受けているので受診を敬遠をするという傾向が非常に高いと思われる。検診メニューを変えたり、自分が抱えている疾病ではない疾病を検査してもらうような仕組みに変えなければ数字は上がっていかないと思う。

## 令和3年度設楽町町営バス特別会計補正予算(第2号)についての主な質疑

- Q 燃料代が高騰しているが、委託業者の運営に支障をきたしていることはないか。
- A 現在、運行委託をしている会社のほうから燃料代の高騰について相談はない。相談があれば対応したい。
- Q 毎年設楽町から豊田市へ稲武線相互乗入れに係る負担金を請求をしているが、内訳を付けて請求をしているのか。
- A 負担金の積算の根拠となるものを付けている。

### 総務建設委員会

3月14日開催 / 付託事件5件、陳情1件  
審議の結果、付託された5議案は可決すべきと決し、陳情1件は全員賛成で採択すべきと決した。主な質疑は以下の通り。

## 議案第10号「設楽町消防団条例の一部を改正する条例について」の主な質疑

- Q 今まで団員報酬と出動手当は、受領委任支払いで分団に支払われていたが、手当の額が増しても同様に支払うのか。
- A 支払い事務が複雑になることから、同様の方法をとりたい。

## 議案第12号「設楽町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について」の主な質疑

- Q 男性職員の育児休暇取得を促してほしいと思うがどうか。
- A この条例は会計年度任用職員に関するものであるが、10月に追加の改正があり、休暇が取りやすくなる予定。

## 陳情第1号「国道257号と町道田内清崎線との交点に信号機並びに横断歩道を設置する陳情書」の主な質疑

- Q 町長が信号機設置に関する陳情を公安委員会に行った内容はどのようなものだったか。
- A 田口側の横断歩道を含めたフルの信号機設置である。

### その他

- Q 奥三河総合センターで、ワーケーションの実験が行われた。とても良いものだったので必要な施策としてぜひ残してほしいが、愛知県に対して要望するつもりはあるか。
- A 内容を把握し、残せるものなら残すよう要請していく。

## 文教厚生 委員会

3月16日開催 / 付託事件1件  
審議の結果、付託された1議案は可決すべきと決した。

議案第13号「設楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について」

全員賛成で原案のとおり可決すべき。

## 設楽ダム 対策特別 委員会

3月18日開催 / 審査事案3件、現地視察1件  
設楽ダム建設事業について、国土交通省設楽ダム工事事務所担当者から説明を受け、質疑を行った。  
主な質疑は以下のとおり。(抜粋)

- Q 設楽ダムは令和6年度中にダム本体ができ湛水を開始し、令和8年完成を目標に進められているが、令和8年度に完成するのか。
- A 令和8年に完成するかしないかを含め、プラス要因マイナス要因をすべて把握し精査して結論を出していきたいと考えている。
- Q 設楽町は令和4年度に総合計画の後期計画を見直さなければならない。設楽ダムは根本でありこれが遅れると総合計画策定も多大な影響がある。はっきりとした結論を早急に出してほしい。
- A 精査中という事で、町全体に迷惑をかける事になることは重々承知しており重く受け止めている。大きな事業なので精査にも時間をいただいている。できる限り早く報告できるように努力していく。
- Q 設楽根羽線について、1号トンネルができるなど整備が進んでいる。旧八橋小学校の辺りで現道にタッチして、滝瀬橋から設楽大橋を通らなくていいルートを部分的にも開放できないか。
- A 旧八橋小学校周辺で取り付ける案というものも考えながら、どうしたら設楽根羽線を早期開通できるか検討していく。
- Q 田口地内で土埃による苦情が大変多くあり路面清掃を去年やっていただいたようである。257号線沿いを清掃していただけているようだが、473号線沿いにも大変土埃が溜まっている。もう一度見直してほしい。
- A 同じ日に設楽根羽線も掃除させていただいている。473号線も含めて、今後清掃区間を再度見直し調整したいと思う。
- Q 設楽町は自然の資源もアクティビティも沢山あるのに外に発信してうまく使えていないので、水源地域の振興が行われ始めたことをありがたいと思う。ただ情報開示の時期と内容の所をもう少し、外の人やスタートアップ企業の人に見ていただけるようにしてほしい。
- A 地域資源や自然資源プロジェクトやアクティビティなどが次々と発見されて行くことを手伝わせて頂けると思う。そこから地域の産業に繋げる仕組みは町と連携して進めていく。

愛知県設楽ダム関連事業について、愛知県設楽ダム関連事業出張所及び愛知県豊川水系対策本部事務局から説明を受け質疑を行った。  
主な質疑は以下のとおり。(抜粋)

- Q 新しい道路が一面吹付で街から来た方が、自然を感じられなかったと言っていた。工法については吹付しかないのか。
- A 緑化という方法があるが、草が邪魔といった別の苦情があったり、メンテナンスの中で草刈り費用などもかかり現実的には草等が生えないような形になる。
- Q 河川整備計画の進捗状況はどうか。
- A 計画内容は関係機関に諮っている。来年度上半期中に公表を目指していきたいと聞いている。

設楽町ダム関連事業については時間の都合により省略。同日、「設楽ダム右岸切替水路工事現場」を現地視察した。

## 道の駅したらの運営について

**質問** 開業から今までの来場者数や売上の予測と現状は。

**産業課長** 目標として、来場者10万人、売上1億円としていたが、2月末で来場者22万人、売上1億1千万円になっている。

**質問** 清嶺市場の出荷者の人数と地元の人との割合は。

**産業課長** 約100名の出荷者がいて、町内の人との割合は8割である。

**質問** 今後の運営管理について。

**町長** しっかりと集客をしていただけるよう駅長の業務を船井アソシエイツに委託したい。また、奥三河郷土館の館長は公募していく。

**意見** 最終的には、イベントのコーディネーターを含めた管理運営を観光協会が担えるよう体制強化を図ってほしい。



原田 直幸 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

## 田口高校の存続に向けた支援策について

**質問** オリエンテーリングのまち設楽町を宣言している。田口高校にオリエンテーリング部の創設や人的、金銭的な支援を行うことはどうか。

**企画ダム対策課長** 4年度以降に具体化するよう地域おこし協力隊や関係者と協力しながら進めていきたい。

**質問** 清和寮を県から町に払い下げを受けるなど、寮に対して積極的な支援はできないか。

**町長** 寮のあり方等を県や高校と一緒に検討していく。

**質問** 町長が考える林業アカデミーとは何か。

**町長** 林業科を卒業した後、即戦力となるよう実習や知識、技能を取得する機関で、町に設置したいと考えている。



加藤 弘文 議員



QRで動画で見よう!

## 設楽町の移住定住対策の抜本的な見直しについて

**質問** 町の存亡をかけた重点政策・移住定住対策目標（子育て世帯の毎年10世帯移住）の達成状況は。また、そうした実績となった原因は。

**企画ダム対策課長** 計画策定以降5年間の子育て世帯の合計は10世帯で、目標は達成できていない。原因は、移住へのハードルが高く、子育て世帯のターゲットを絞れなかった。

**質問** 原因は、町の脆弱な計画と予算と組織にある。計画的な新規移住定住住宅建設とそのための大きな財政投資、重点政策を担う各課横断的な役場組織体制が必要では。建設実績は。

**建設課長** 過去10年間で新規住宅建設は、54世帯。ほぼ田口地区に集中。

**町長** 来年度は、課をまたいだ体制づくりをし、移住につながる魅力ある町づくりをしていく。

**質問** 教育長は、喫緊の課題となっている学校統廃合問題は、こうした移住定住対策の失敗と密接に関わっているという認識はあるか。

**教育長** 一定程度の効果がある小学校区もあるが、目標達成という観点からは十分な結果が得られていない。統合も、単に将来人口が減るからではなく、子どもにとってどんな環境が一番良いかを考える。

**質問** 町長は、施政方針で「子育て世帯10世帯の移住」をめざすと述べたが、その覚悟は。

**町長** 覚悟をもって取り組む。まず地域の皆さんの声を大切にしながら、移住定住対策だけでなく必要な対策は打っていく。

## 日常の買い物がしっかりできる町づくりについて

**質問** 「買い物が安心してできる町」への施策は？

**産業課長** 食料品、雑貨を販売している店舗に限定すると、現在、町内では6店舗が営業しており、商店が自宅付近にない町民は約2000人と捉えている。買い物弱者対策について、商工業や福祉などの地域課題も包括的に捉え、点が線、面へと繋がる仕組み作りが必要。今後も関係課、商工業者との協議を進める他、地域の買い物に対する現状を調査するなどして早い時期に何らかの方向性を示したい。

## 「持続可能な移動手段」について

**質問** 福祉タクシーの利用条件は？

**町民課長** 要介護・要支援の認定を受けている方・身体障害者手帳の交付を受けている方・その他肢体不自由・内部障害・知的障害・精神障害・その他の障害を有する方。合計891人で、この内福祉タクシー利用者として登録されている方は290人で全体の32.5%にあたる。また今年度と来年度移送サービスの新しい形を模索し、町内及び新城エリアぐらいを想定して移動支援の実証実験を進める予定。

**質問** 交通空白地への対応について

**企画ダム対策課長** 現在「沖駒地区」が交通空白地に該当するが、状況も変わっているので検討も必要。

**質問** 交通関連の組織を横に繋げる考えはあるか。

**町長** 横の繋がりをしっかり持たせる事を念頭に置く。



原田 純子 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!



今泉 吉人 議員



QRで動画で見よう!

## 町民の目線に立った町政のあり方を問う

**質問** 区長、組長手当等を増額する考えはないか。

**総務課長** 区長手当は、平均で1区あたり132,426円。組長手当は、1世帯500円。手当に関する要望もない。見直しの予定はない。

**質問** 組内に入っていない住民がいる。組に入ると行事等に参加しなくてはならない。用事があれば通知がくるので組加入を断る。このような住民に対し行政はどう考えるか。

**総務課長** 自治組織であり、自主的に運営することが理想。加入は、組織の目的を理解、住民同士で協力し、加入をお願いしたい。自治組織であり、強制はできない。組を抜きたいという住民には、災害時や見守りの対応、共助の意味で大切だと考えているので組加入に協力をお願いしたい。区長、組長の手間が少なくなるよう検討していきたい。

**町長** 住民懇談会の折に話を聞き行政として協力と支援をする。

**質問** 高齢化が進み、一人世帯の住民が増えてきている。町は、どのような連絡網や安否確認をしているのか。

**町民課長** 社会福祉協議会のヘルパーによる訪問や配食サービスによる安否確認は行っている。緊急時には、役場に連絡がはいり、担当者が現地に出向き対応している。

**質問** ガソリン高騰が続いているが、町民に還元はないか。

**産業課長** ガソリンの還元は、代替案としてプレミアム商品券で町民全員に一人当たり1冊6,000円分を配布することで考えていただきたい。

## 令和4年度の町の方向性について

**質問** 町長の「対話と協働」「産業振興」「田口高校の存続」「情報化推進委員の配置」など、住民の参加促進や縦割りを排した取り組みで、喫緊の課題に立ち向かう姿勢を評価する。具体的な課題の明示と情報共有の徹底が必要だ。どのように行うのか。

**町長** 各地区の対話の場への住民の参加、各課を横断する課長会議の充実から取り組む。情報公開は徹底する。現在「学校の適正配置」に関して協議が盛り上がり、皆で地域づくりを進める契機と考えている。

**質問** 町民が自分事としてまちづくりに参加する基盤には、それぞれの理想の実現に向けて具体的に立案設計する生き方（ウェルネス）のデザインがある。この啓発が未だ充分とは言えないがいかがか。

**町民課長** ウェルネスの概念は、健康面だけでなく、町民が生きがいを持つための環境、社会、地域、人など、非常に幅広い分野での取り組みが必要となる。結果として、町民が充実した人生を送ることで医療費の削減に繋がり、人が元気になることで地域が元気になる波及効果が考えられる。

**教育課長** 改めて意識を共有し連携して、広い視点で取り組んでいかなければと考える。



金田 文子 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!



田中 邦利 議員



QRで動画で見よう!

## コロナ感染症から町民を守るために

**質問** ワクチン3回目接種はどこまで。

**保健福祉センター所長** 2,531人、約67%の方が接種終了。集団接種終了後は医療機関で個別接種を予定している。小児の接種は、157人に接種券を発送した。

**質問** PCR検査の無料検査を設楽町でも。

**町民課長** 町への検査所の拡大を県に要望することは難しい。

**質問** 濃厚接触者や同居家族などに対する独自の支援は。

**町民課長** 県からの支援がない方については、連絡があれば、できる限り対応させていただく。

## 新城設楽風力発電計画(仮称)について

**質問** 環境アセスが始まったが、過去に計画されていた名倉の風力発電事業とは比べものにならないほど大規模である。町として慎重な対応が求められる。この風力発電事業の環境アセスについてどのように考えるか。

**企画ダム対策課長** 地域に対する事業実施のメリット・デメリット、近隣住民の健康や自然環境への影響には、十分な配慮がなされるべき。住宅との距離、低周波音についても、特に慎重な検討を求めていく。

**質問** 環境配慮書に対する町長意見はどんなものか。

**企画ダム対策課長** 「住民の健康への影響については、特に慎重に検討すべきこと」など6点を知事に提出している。

**質問** 地域の発展のために、事業者にどのような協力を求めるか。

**企画ダム対策課長** 初期段階から、しっかり話し合っていく。



## 冬期の除雪、雪害対策等について

**質問** 国道257と沖駒地区の現状把握はどうか。

**建設課長** 同地区と除雪契約を結び作業を委託。重機の手配に限りがあるが検討したい。

**質問** ①守備範囲が広すぎてカバーできない ②重機不足である ③夜中の除雪が望ましい ④担当者不足 ⑤一番利用する中電の黒田湖道は500万円の費用が必要 ⑥冬期2か月間のペイローダーの貸与 ⑦全線開通の広域農道分として除雪費用を追加することはできないか。

**建設課長** ①から⑥まで沖駒地区の皆さんに除雪作業をお願いしているが、町としては国県道優先となりグレーダー所有業者が1社のみで、作業員にも限りがあり隅々まで行き届かない事態が発生、迅速な対応が困難となっている。⑦の国道257の融雪剤の散布は早朝の暗いうちから開始、国県道が済んでからなので町道は最後になる。5月の広域農道の全線開通に合わせて250万円増の450万円の重機借上料を計上している。



**高森 陽一郎 議員**



① スマホで撮って  
② 議会動画へ

**QRで動画で見よう!**

## 広域農道全線開通後の沖駒地区再開発について

**質問** 広域農道開通後の沖駒地区の再開発について、無秩序な開発、切り売りを防ぐため地元で開発可能な地区指定をしてはどうか。

**企画ダム対策課長** 土地規制は1万㎡超は県に届出が必要。その他規制なし。



**七原 剛 議員**



**QRで動画で見よう!**

## きららの森整備事業について

**質問** ビジターセンターの実施設設計が完了しているが、内容及び事業費用の内訳はどのようなものか。

**産業課長** 314㎡の建屋とイベント広場を設ける。事業費は約2億円を予定している。

**質問** 建設する目的は何か。また、目的達成のための施策はあるのか。

**産業課長** 森を維持していくことの重要性を後世に伝えていく場となることを目的に整備する。観光にとどまらない多角的な観点から施策を展開していく。

**質問** 採算性についてはどう考えているのか。

**産業課長** 整備内容や事業計画をさらに精査する。

**町長** 原点に立ち返り採算面の検討を行い建設の判断をしたい。

**質問** 段戸国有林に毒性の強い農薬が埋設されているとの報道があるが、国と何らかの協議は行っているのか。

**産業課長** 林野庁が適切に埋設、管理している。

## 清崎地区の公共用地の利活用について

**質問** 新年度予算に西山団地周辺の有効利用の検討が含まれているが、現状で計画されているものはあるか。

**企画ダム対策課長** 現在計画はないが、道の駅周辺の河川や西山団地、貯木場跡地の利用について、一体的な整備の下、検討していく。

**町長** 町民と協議をする場をきちんと設け、そのうえで計画を進めたい。

## ● 設楽ダム対策特別委員会の現地視察

3月18日(金)に開催された設楽ダム対策特別委員会では、設楽ダム右岸切替水路工事現場の視察を行いました。



### 6月定例会 の日程(予定)

場所：設楽町役場  
 議場  
 時間：午前9時から

- 6月 3日(金) 開会・一般質問・提案説明
- 6月 7日(火) 総務建設委員会
- 6月 8日(水) 文教厚生委員会
- 6月10日(金) 設楽ダム対策特別委員会
- 6月21日(火) 委員長報告・討論・採決・閉会

(設楽ダム対策特別委員会は午前9時30分から) (日程は変更になることもあります)

**広報委員** 委員長：七原剛 委員：原田直幸 村松純次 原田純子